

第10次 興部町社会教育中期計画

つなげよう 広げよう

～“未来”へ羽ばたく人づくり～



興部町教育委員会

は じ め に

我が国は、世界に類のない少子高齢化が進行し、グローバル化や高度情報化社会の進展など、留まるところを知らない程の大きな社会構造の変革の中にあり、更には、新型コロナウイルス感染症の大流行が、私たちを取り巻く生活様式や価値観を大きく揺り動かし、文化やスポーツ、コミュニティ活動にも大きな影響を及ぼし、社会的・教育的なニーズも多岐にわたるようになってきています。

今後も、更なる社会環境の大きな変化が予想される中、より多様で複雑化する課題と向き合いながら、一人ひとりが豊かな人生を送ることのできる持続可能な社会をつくるために、生涯を通じて誰もが学びを継続できる環境づくりを進めることが求められており、子どもから高齢者まで、町民が人生 100 年時代を豊かに生きていくために、今後の社会教育はどうあるべきかを長期的な視野に立って見極め、取り組みを進めて行くことが必要となっています。

このような中、「第 9 次興部町社会教育中期計画」が最終年度を迎えるにあたり、令和 6 年 7 月に社会教育委員長へ諮問し、興部町の社会教育を取り巻く現状や課題から、今後の取り組む施策や方向性のなどの検討・協議を踏まえ答申いただきました。教育委員会では、この答申をもとに、「興部町総合計画」に掲げる町の姿である「“地域の誇り” 未来の産業を育てる～ひと、まち、自然が調和するまち・おこっぺ」を踏まえながら、今後 5 年間を通じて目指すべき基本方針や施策を示した「第 10 次興部町社会教育中期計画」を策定いたしました。本計画を町の社会教育推進の指針として施策や事業を展開し、「社会教育」を基盤とした「人づくり、つながりづくり、地域づくり」を目指し、各種事業に取り組んでまいりたいと考えておりますので、町民の皆様のご理解とご協力、参画をお願いいたします。

結びに、本計画策定にご尽力いただいた社会教育委員の皆様並びに関係機関の方々に心から感謝申し上げますとともに、今後とも本計画の実現に向けて、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 7 年 3 月

興部町教育委員会

教育長 畑 山 研 二

目 次

第1章 社会教育中期実施計画の基本方針

第1節 計画策定の趣旨	1
第2節 計画策定の基本的な考え方	1
第3節 計画の期間、実施方法	2
第4節 計画の構成	2

第2章 社会教育中期実施計画の目標

第1節 興部町民憲章	3
第2節 興部町総合計画	3
第3節 興部町教育目標	4
第4節 興部町社会教育推進目標	5
第六期興部町総合計画基本計画の施策体系	6
第5節 持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた取組の推進	7

第3章 社会教育の現状と方向性・実施計画

1 乳幼児期	9
2 青少年期	11
3 成人期	13
4 高齢期	15
5 スポーツ活動	17
6 図書館活動	19
7 芸術・文化活動	21
8 社会教育基盤整備	23
〈別 表〉	25

参 考 資 料

1 住民意識調査要項及び結果	参考資料－1～11
2 諮問文	参考資料－12
3 答申文	参考資料－13
4 策定経過	参考資料－14
5 策定委員会設置要綱	参考資料－15
6 策定委員会部会構成	参考資料－16

第 1 章

社会教育中期実施計画の基本方針

第1節 計画策定の趣旨

興部町では、第9次興部町社会教育中期計画（令和2年度～令和6年度）を策定し、社会教育の推進に努めてきました。

現在の社会情勢は、都市部への人口流出による地方過疎化の進行、グローバル化への急激な移行、人々の価値観やワークスタイルが大きく変化しています。

本町においても、人と人とのつながりの希薄化が広がる傾向にあり、以前と比べ地域の教育力低下が懸念されています。

社会教育の役割は、地域の住民が学び合い、共に成長する場を提供し、地域の活性化や文化の継承を促進させ、また、地域の課題解決や住民の連帯感を高めることで、より良い地域社会の実現に寄与することにあります。

このたび策定する社会教育中期計画は、第六期興部町総合計画～後期基本計画～に基づくものであり総合計画の理念とこれまでの社会教育中期計画の取組を踏まえて、今後5年間の本町における社会教育の指針として策定するものです。

第2節 計画策定の基本的な考え方

本計画は、次の3つを基本的な考えとします。

- 1 本計画のテーマは「つなげよう広げよう～未来へ羽ばたく人づくり～」であり、その根幹にある「つながり」は生涯学習の推進において重要な役割を果たします。教育基本法第3条（生涯学習の理念）に基づき、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現」を目指すためには、学習の機会を提供するだけでなく、学びの場での「つながり」を強化することが必要です。町民が互いに支え合い、刺激し合うことで、学習意欲が高まり、成果が地域に還元され、社会全体の発展に寄与することが期待されます。例えば、地域の課題解決に向けたプロジェクトやボランティア活動を通じて、学んだ知識やスキルを実践する機会を提供することができます。これにより、自己の成長を実感し、社会に貢献する喜びを感じることができます。「つながり」を重視した生涯学習の推進は、個人の成長と社会の発展を両立させるための重要な要素です。

今後は、教育基本法の生涯学習の理念に基づき、学びの場での「つながり」を強化する取り組みを進めていきます。

- 2 興部町のまちづくりは、2023年に策定された「第六期興部町総合計画～後期基本計画～」を最上位計画として進められており、教育に関しては「第4章“未来”へ羽ばたく知識を育む」において、学校教育の充実、社会教育の推進、スポーツの振興、芸術・文化の振興を具体的施策として計画しており、それらとの整合性を図ることを基本としています。
- 3 第9次社会教育中期計画の評価を踏まえ、社会情勢や現代的諸課題に対応した計画を策定します。

第3節 計画の期間、実施方法

この計画は、令和7年度から令和11年度までの5ヵ年とします。

ただし、この計画は基本的な指針であり不変の計画ではなく、急速な社会情勢や環境の変化に対応し、必要に応じた修正を加えながら弾力的な運用を図るものとします。

生涯学習社会の構築にあたって、社会教育はその主軸を担うものです。子どもから成人、高齢者までの全世代が「だれでも」「いつでも」「どこでも」自由に学習することができ、その成果が正当に評価される環境を目指します。

第4節 計画の構成

この計画は、「第1章 社会教育中期実施計画の基本方針」「第2章 社会教育中期 実施計画の目標」「第3章 社会教育の現状と方向性・実施計画」及び「参考資料」から構成されています。

第1章では、この計画の趣旨や町の最上位計画である「第六期興部町総合計画～後期基本計画～」との関係及び期間や実施方法について記しています。

第2章では、「町民憲章」や上位計画の内容を記しています。

第3章では、領域毎に現状と方向性を明らかにし、具体的な実施計画について記しています。

参考資料では、この計画を作成する際に実施した「住民意識調査」の集計結果、その他関係資料を記しています。

第 2 章

社会教育中期実施計画の目標

第1節 興部町民憲章

興部町民憲章は、広く町民の意向を汲んだ上で町民憲章制定委員会で十分審議し、町議会の議決を得て、昭和49年11月3日に制定されました。

興部町民憲章

わたくしたちは、雄大なオホーツクと緑豊かな自然に恵まれた興部の町民です。

わたくしたちは、先人の偉業をたたえ、このまちに住むことにかぎりない喜びと誇りを
持ち、明るく豊かなまちをつくるため、ここに町民憲章を定めます。

- 1 健康ではたらき、楽しい家庭をつくります。
- 1 きまりをまもり、明るい社会をきずきます。
- 1 自然を愛し、美しいまちをつくります。
- 1 教養を深め、かおり高い文化をそだてます。
- 1 未来に夢をもち、豊かな郷土をつくります。

第2節 興部町総合計画

興部町総合計画は、令和5年度に後期基本計画が策定され、以降5年間の興部町の進むべき方向を示しました。

《めざすべき将来像》

“地域の誇り” 未来の産業を育てる～ひと、まち、自然が調和するまち・おこっぺ～

【基本目標】

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1 “未来” に夢ある暮らし | 〈住民生活分野〉 |
| 2 “未来” へ輝く産業を育てる | 〈産業分野〉 |
| 3 “未来” のライフ・ステージを支える | 〈保健・医療・福祉分野〉 |
| 4 “未来” へ羽ばたく知識を育む | 〈教育・文化分野〉 |
| 5 “未来” へつなぐ環境づくり | 〈環境分野〉 |
| 6 “未来” へ架ける協働のまちづくり | 〈まちづくり・行財政分野〉 |

第3節 興部町教育目標

昭和49年の町民憲章制定に伴い、町のビジョンの達成を目指す教育を推進するため、校長会、教頭会の協力のもとに、「興部町教育目標」を定める特別委員会を設置しその答申を受け昭和51年1月1日定められました。

《興部町教育目標》

- 1 自己および地域社会の開発を目指す創造的な人材の育成
 - (1) 住民意識を高め、新しい時代に応える町づくりに精進できる人間を育てる。
 - (2) 未来を見通した創造的な行動力を養うため、芸術文化やスポーツを愛好する豊かな人間を育てる。
- 2 自主的、積極的な態度と言動に責任を持てる人間の育成
 - (1) 激しく流動する現代社会に生きていくためにあらゆる情報・知識を吸収し、正しく公平な判断力を持つ人間を育てる。
 - (2) 生涯教育を自らの手で実践し行動できる意欲と積極性のある人間を育てる。

青年の誓い

雄大なオホーツクと緑豊かな大地にかこまれた興部町は百年を迎えました。

私たちの郷土は、先人祖父母が幾多の労苦と風雪に耐えながら、開拓に心血をそそいだ血と汗の結晶であり、そのフロンティア精神に私達は限りない感動を覚えます。

輝かしい我が郷土の二世紀は、今この時より私たち青年に課せられた責務であることに自覚と誇りをもち、夢と希望に満ちた郷土、興部町の建設につとめることを誓います。

昭和63年10月1日 「興部町開基百年記念式典」

第4節 興部町社会教育推進目標

本計画の社会教育推進目標は、次のとおりとします。

つなげよう広げよう

～“未来”へ羽ばたく人づくり～

- | | |
|------------|------------------------------|
| 1 乳幼児期 | ～「親と子」「家庭と地域」のつながりづくりの推進 |
| 2 青少年期 | ～郷土を愛する人材の育成を目指す地域に根差した活動の推進 |
| 3 成人期 | ～主体的に学びを推進する人づくり |
| 4 高齢期 | ～豊富な知識や経験の次世代への継承 |
| 5 スポーツ活動 | ～「人」輝くスポーツ活動の推進 |
| 6 図書館活動 | ～図書館が繋ぐ「歴史」と「人」と「本」 |
| 7 芸術・文化活動 | ～芸術・文化を通した豊かな心の醸成 |
| 8 社会教育基盤整備 | ～生涯学習の基盤整備・充実 |

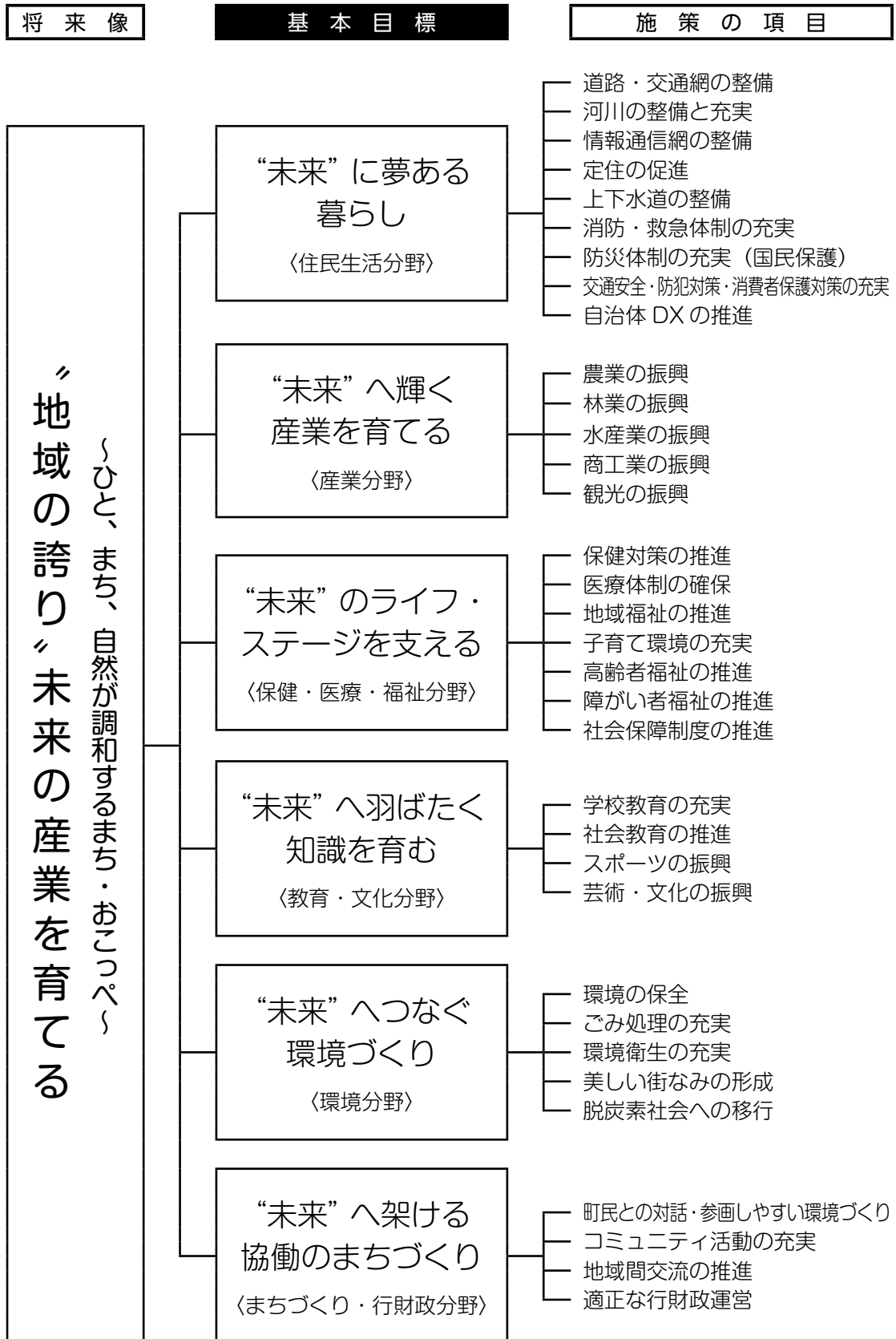
第六期興部町総合計画～後期基本計画～ 第4章〈教育・文化分野〉

【“未来”へ羽ばたく知識を育む】（基本目標）

次代を担う子どもの学ぶ意欲を醸成させつつ、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、豊かな心と健やかな体を育む教育環境づくりが必要です。学校と地域社会が、教育活動をはじめとする学校運営の目標を共有し、連携・協働する学校運営協議会を組織し、“開かれた学校づくり”を推進します。

また、町民の学習意欲を高めるため、生涯にわたる学びの支援を進めるとともに、文化芸術の振興、文化財の保存、スポーツ活動・読書環境の整備を通じて活力とうるおいのある生涯学習社会の構築により、文化の香り豊かなまちづくりを目指します。

第六期興部町総合計画～後期基本計画～基本構想の施策体系



第5節 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組の推進

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための、17のゴールと169のターゲットのことを言います。

本計画で定める各分野の取組については、世界全体で取り組むこととされている「SDGs」において掲げられている理念を取り入れながら推進していきます。



(SDGs のポスター・ロゴ・アイコンおよびガイドライン | 国連広報センターより)

第 3 章

社会教育の現状と方向性・実施計画



おもしろ体験教室「考古学教室」

1. 乳幼児期

【現状と方向性】

乳幼児期は、身近な人との関わりを深め、興味・関心の対象を広げ、認識力や社会性を発達させていく重要な時期であり、その中でも、家庭は乳幼児の成長の最も基礎となる心身の基盤を形成する場です。

近年、子どもが様々な人と直接触れあう場が少なくなるなど、この時期の子どもの成長に必要な機会が十分に確保されていないことが問題として挙げられています。さらには、家族や地域社会の在り方が変化する中で、不安や悩みを抱える保護者が増加していることや、地縁的な横のつながりが希薄になるなど、家庭や地域を支える環境も変化しています。本町においては、乳幼児期の子と親を対象に、地元食材を使った料理教室、ベビーマッサージ等の実技を交えた子育て講座を実施していますが、思うように参加者が集まらないのが現状です。今後は、対象者のニーズ把握や関係部局とより綿密に連携を図り、「親と子」「家庭と地域」のつながりをサポートしていくと共に、親同士の横のつながりづくりについても注力していきます。

現在、町内の保育所・幼稚園に通う子とその保護者を対象に「幼児教育学級」を開設しています。モノづくり体験や食育教室等、年に数回程親子で交流する事業を実施していますので引き続きサポートを行っていきます。

住民意識調査の結果によると、「興味・関心を持っていること」の項目で「育児・子どもの教育」と回答した方が約15%いました。また、「より充実させるべきと考える事業」として「家庭教育支援事業」の充実を求める声も挙がっています。現在、乳幼児期の支援は主に福祉部局が行っています。令和8年10月頃には、認定こども園の開設が予定されていますので、今後は子どもの発達段階によって支援すべき役割を明確にし、それぞれが持っている情報の共有化を図り、子育て世代へ必要なアプローチができるように努めます。

【実施計画】

推 進 目 標	「親と子」「家庭と地域」のつながりづくりの推進
---------	-------------------------

推 進 項 目	内 容
親と子のコミュニケーションを育む 機会の提供	●幼稚園や保育所における幼児教育学級の開設 ●子育て交流事業の実施
保護者間のネットワーク形成の支援	●交流事業の実施 ●事業を通じた保護者間のつながりサポートの実施
連携・ネットワークの充実	●福祉部局との連携強化と情報の共有



「育児がもっと楽しくなる！ふれあい子育て教室」



「ふるさと親子クッキング」

2 青少年期

【現状と方向性】

青少年期は、人格形成において最も重要な時期であり、家庭、学校、地域社会から多岐にわたる影響を受けながら成長していきます。

近年、情報化の進展により、スマートフォンやタブレット端末などの※ＩＣＴ機器が普及しました。膨大な情報にアクセスできるようになり、コミュニケーションの手段も多様化する一方で、長時間利用による生活リズムの乱れが懸念され、さらに自然体験や文化芸術体験などの直接的な体験活動が減少する傾向が見られています。そのため本町では、地域の魅力を活かした体験活動（町の自然、産業体験を通じて、郷土愛を育むことを目的）として、「わんぱく村」や「おもしろ体験教室」を行っています。子どもたちの主体性や協調性を育み、地域への愛着を深めるとともに、『興部らしい』特色ある教育を推進し、地域住民や事業者と連携をして子どもたちの成長を支援する体制づくりを行います。世代の異なる児童と生徒が交流することで、多様な価値観に触れる機会を提供し、子どもたちの自己肯定感を高め、自ら考え、行動する力を養います。

児童の放課後の安全・安心な居場所の確保として、沙留地区において「放課後子供教室」を開設しています。「放課後子供教室」では、地域全体で子どもたちを育む教育の推進、子ども同士や地域の方々の交流の場所づくりを目指し、より多くの町民が子どもたちの活動に携われるような体制づくりを行います。また、地域に開かれた学校教育充実のために社会教育の果たす役割が大きくなっている状況の中で、学校や学童保育（はまなす学園）との連携を強化し、多様な活動を提供することで、子どもたちの成長を大きく後押しします。

※ＩＣＴ機器

情報通信技術を利用した機器の総称

【実施計画】

推 進 目 標	郷土を愛する人材の育成を目指す地域に根差した活動の推進
---------	-----------------------------

推 進 項 目	内 容
体験的な活動機会の充実	●地域の自然や文化や歴史などの地域に根差した教育や事業の実施 ●地域の人材を活用した事業の実施
交流機会の充実	●世代の異なる児童・生徒が参加できる事業の実施 ●リーダーの養成
放課後対策の推進	●児童の放課後の安全・安心な居場所の確保と充実 ●子ども同士や地域の方々が交流できる場所づくり
学校教育との連携・協働	●学校教育で活用できる教育資源の開発 ●各機関との情報共有 ●総合的な学習・探求活動充実のための支援



わんぱく村「漁業体験」



放課後子供教室「野菜の苗植え」

3 成人期

【現状と方向性】

成人期は、仕事・家庭・地域において、中心的な役割を担う最も社会に貢献できる時期であり、責任のある役割が充てられる大変忙しい時期であるため、社会教育活動への参加が少ない世代でもあります。住民意識調査の結果でも生涯学習を行っていない理由の約30%が「時間がない」という結果になっています。そのため、限られた時間の中でニーズに合った事業を提供し、それを地域活性化につなげていくことが求められています。自らの意思で学ぶ生涯学習の一層の充実を図るため、町民一人ひとりの学習を大切にし、地域の課題に取り組んでいくための学習情報を提供するとともに学習機会の充実に努めます。

本町では、町民と一緒に事業を展開する形式の講座や町の環境に関する講座、料理を通じた異文化交流事業等の取り組みを実施しており、幅広い対象が参加しやすい学習環境づくりを行っています。また、町内の方々に講師を依頼し、住民活躍の場の創出にも取り組んでいます。

住民意識調査の結果によると、生涯学習活動を行っている理由として、上位に「余暇を楽しく過ごすこと」や「健康維持や老化防止」が挙がっており、自身のために生涯学習を行っている方々が大半を占めているため、常にアンテナを張り、町民がどのようなことを求めているのか情報収集を行っています。一方、約20%の方が、生涯学習活動を行っている理由として「地域貢献やボランティアのため」と回答しています。今後、生涯学習活動の成果を地域活動に結びつけることが、主体的な住民を増やし地域の活性化につながることを意識しながら、そのきっかけとなる仕組みづくりに注力し、地域住民と共に社会教育の推進に取り組んでいきます。

【実施計画】

推 進 目 標	主体的に学びを推進する人づくり
---------	-----------------

推 進 項 目	内 容
学習機会の提供と環境整備	●町民の多様なニーズに合わせた講座の実施 ●地域課題について学ぶ機会の提供 ●積極的な情報発信
生涯学習活動の充実	●自発的な学習活動の提供 ●発表の機会の提供
地域づくりに貢献する人材育成	●地域づくりに貢献する人材育成の環境づくり ●異文化交流事業の実施 ●異業種交流事業の実施



成人大学講座「興部の歴史を振り返ろう、残そう！」



成人大学講座「ワンプレートクッキング！」

4 高齢期

【現状と方向性】

近年、日本社会は急速な高齢化が進み、それに伴う医療・福祉の課題が深刻化しています。同時に、社会教育の分野においても、地域社会の変化に対応するための新たな取り組みが求められています。高齢化社会における社会教育は、単に知識や技能を教えるだけでなく、地域社会とのつながりを深め、高齢者がいきがいを持って生活できるよう支援することが求められています。地域住民、行政、民間企業などが連携し、高齢者が主体的に参加できるような多様なプログラムを提供していくことが重要です。

住民意識調査の結果によると、「より充実させるべきと考える事業」の上位に、「高齢者対象の生きがいづくり」の項目が入っています。本町では、高齢者対象の生きがいづくりを促進するために、「おこっぺ長寿大学」を開設しています。おこっぺ長寿大学では、午前に一般教養、午後にクラブ活動を行っています。一般教養では、リースづくりや焼きガラス体験といった創作活動、バス遠足、新年恒例のもちつきを実施しています。これらの活動は参加人数も多く、関心の高い事業のため、今後も継続していきます。さらに学習の成果を発表できる場として、興部町総合文化祭では作品の展示、町民チャリティー演芸会ではコーラスの発表を行っています。地域社会との交流を持つことで、自己肯定感を高めます。

令和5年度より興部高校との連携で軽ストレッチ講座を実施し、幅広い世代との交流を図る活動を行っています。また、興部小学校の学校行事である興小まつりに参加し、「むかしあそび」と題して、あやとりやめんこ、ヨーヨーを行い児童との交流を行っています。豊かな経験や知識を次世代に伝えることを通して世代間交流を促進することが重要であり、今後もそのような仕組みづくりに努めていきます。

【実施計画】

推 進 目 標	豊富な知識や経験の次世代への継承
---------	------------------

推 進 項 目	内 容
高齢者の生きがいづくり	●おこっぺ長寿大学の実施 ●学習の成果を発揮できる機会の提供 ●参加しやすい環境づくり
様々な分野の学習機会の提供	●魅力ある学習プログラムの作成
世代間交流機会の提供	●幅広い世代との交流事業の実施 ●豊かな経験や知識を次世代に伝える活動機会の実施



おこっぺ長寿大学「バス遠足」



おこっぺ長寿大学「興部高校との連携講座」

5 スポーツ活動

【現状と方向性】

本町におけるスポーツ活動は、屋外や屋内の施設を通して幅広い世代がスポーツに親しみ、心身の健康維持や体力向上、趣味や娯楽として行っております。これにより、町民同士の交流も図れるため、健康で文化的な生活を送ることができます。

しかし、少子高齢化や子ども・若年層のスポーツ離れを背景に、スポーツ団体の団員数減少や指導者不足が課題となっています。そのため、各団体の活動支援や教育委員会事業におけるスポーツ機会の提供、各種スポーツの普及を進めていく必要があることから、スポーツ推進委員会やスポーツ協会、スポーツ少年団本部を中心に、現状における有効な活動を検討していきます。

子どもたちに色々なスポーツ活動に触れる機会を提供するために行う部活動の地域移行については、指導者の確保や受け皿となる地域クラブ等の設立など解決すべき多くの課題がありますが、本町の実情に応じた、地域と連携した子どもたちのためのスポーツ活動の充実を検討し、環境の整備をしていきます。

いずれの課題においても時代の流れによる活動形態の変化が求められるため、各団体との連携や地域移行の検討協議会等を通して、問題の解決に努め、本町の活性化を図ることが重要となります。

また、各施設における設備の整備更新を行い、町民や団体の利用を促進し、運動事業等によるスポーツ機会の提供を行うことで、健康維持や体力向上のうえ、自発的なスポーツ体験のきっかけ作りを図ります。

今後も、町民が安心して利用できる施設の提供、子どもから高齢者まで幅広い世代のスポーツ活動の推進や支援により、スポーツの振興と地域活性化を目指します。

【実施計画】

推 進 目 標	「人」輝くスポーツ活動の推進
---------	----------------

推 進 項 目	内 容
スポーツ活動の推進	●町民の体力向上を目指し、気軽に参加できるスポーツの提供 ●新たなスポーツ機会の提供 ●スポーツ施設の整備更新
各種スポーツ事業の促進	●町民の交流や運動意識向上を目的とした事業各種スポーツ教室の実施 ●町民向けメールやSNSの活用
各スポーツ団体への支援活動	●スポーツ団体への全国全道大会出場活動支援の実施 ●スポーツ少年団への補助支援、協力の実施
各スポーツ団体育成事業の実施	●スポーツ少年団交流事業の実施 ●スポーツ指導者育成支援事業の実施



スポーツ少年団スポーツ大会



動いて爽快～大人の運動広場～

6 図書館活動

【現状と方向性】

時代が移り行く中で利用者のニーズは多様化し、それに合わせて図書館サービスも利用価値の高いものへと変化しなければなりません。資料の充実においては、自らの課題解決や生涯学習に対応できる蔵書構成を維持することと、地域の歴史を記録として後世に残すという図書館の責務を果たすために収集や保存が重要になってきます。しかし現在所有している地域資料には劣化の進んでいるものもあることからデジタル化を検討していく必要があります。

施設の利用については、本を借りるだけではなく企画展示やイベント等を行い、図書館を身近に感じてもらい、「学習の場」「憩いの場」「本を通じた交流の場」として気軽に利用できるということを周知するなど情報発信に努めます。

読書普及活動については、資料を有効に活用し本の楽しさや様々な本との出会いとなる展示や読書意欲を掻き立てる活動、また、来館が困難な町民や高齢者には宅配サービスや移動図書館車「まきば号」を巡回することで活字に触れる機会を提供し誰もが利用できるよう活動していきます。

子どもの読書環境については「第3次興部町子どもの読書活動推進計画」を策定し、乳幼児から高校生までの子どもの読書活動を推進するために学校、家庭と連携し本と出会う喜びや楽しさを伝える活動をしていきます。乳幼児期では保護者の絵本への意識向上に向けた取り組み、学校では学校図書館の充実や利活用が重要になってきますので連携を図り、学校図書館への支援も充実しながら読書活動を推進していきます。また、福祉部局や近隣図書館と共同事業を実施するなど連携も強化しより良い活動をしていきます。

【実施計画】

推 進 目 標	図書館が繋ぐ「歴史」と「人」と「本」
---------	--------------------

推 進 項 目	内 容
資料の充実	●※レファレンスサービスにも対応できる蔵書構成を維持 ●利用者の読書傾向を反映させた選書 ●地域資料の収集・保存 ●地域資料のデジタル化
読書環境の整備	●図書館システムを活用した利便性の向上 ●資料展示
利用機会の拡大・促進	●誰もが利用しやすい図書館活動 ●学習・憩い・交流の場としての利用 ●イベント、講座の開設 ●SNS等を活用した広報周知
子どもの読書普及活動の推進	●興部町子どもの読書活動推進計画策定
連携・ネットワークの充実	●各機関・団体との連携強化

※レファレンスサービス

利用者の疑問や課題に対し図書館資料を駆使して回答するサービスのこと



企画展示「映画パンフレットの世界」



「はらぺこめがねさんワークショップ」

7 芸術・文化活動

【現状と方向性】

芸術・文化活動は、郷土を愛し、生き生きとした生活を送るための役割等、非常に重要な活動であります。本町の文化連盟に加盟している団体は令和6年4月1日現在16団体、会員数156名となっています。しかしながら年々会員の高齢化が進み、団体の解散、活動の衰退があるのも現状です。一方で、文化連盟の加盟によらず自主的に活動を進めている団体・個人が増えてきていることも事実です。今後は、部活動の地域移行を見据え、文化活動を推進する団体や個人に対して、引き続き支援を行い、文化活動に携わる人口の維持増加に努めます。

また、日頃の文化・芸術の発表の場として、「興部町総合文化祭」や「町民チャリティー演芸会」を文化連盟主体で実施しており、出演者・来場者数はここ数年増加傾向にあります。今後は参加範囲や実施日時の検討、周知方法を工夫し、より多くの町民が文化芸術に触れる取り組みを考えていきます。

芸術活動としましては、町内幼稚園・保育所・小中学校の子どもたちを対象に「子ども劇場」を実施しており、時代やニーズに合った内容の選定を行っています。そして、全町民を対象とした「オホーツク・おこっぺ芸術劇場」では、実行委員会に対し補助金等の支援を行い、豊かな芸術鑑賞の機会を提供していきます。

町内歴史的遺産の保存活用として、町指定歴史的遺産である米田御殿・郷土資料館の一般公開を行い、社会教育事業と併せた公開、人材バンクを活用した米田御殿でのお茶会・お琴演奏等を行いました。今後も町内の貴重な歴史的遺産を後世に残し継承していくために、町内小中高校との授業連携や、より工夫を凝らした事業の企画、積極的な情報発信に努めます。

【実施計画】

推 進 目 標	芸術・文化を通じた豊かな心の醸成
---------	------------------

推 進 項 目	内 容
各種文化団体への支援	●文化連盟や文化活動を推進する団体・個人への育成支援
芸術文化に触れる機会の提供	●「子ども劇場」の実施 ●「オホーツクおこっぺ芸術劇場」の実施 ●公民館ロビーの活用および利用の促進 ●情報発信の拡充
歴史的遺産の保存と活用	●歴史的建造物および郷土資料の保存と活用 ●米田御殿、郷土資料館の一般開放 ●町内小中高校との授業連携



文化連盟主催「総合文化祭芸能発表会」



町指定歴史的遺産第1号「米田御殿」

8 社会教育基盤整備

【現状と方向性】

地域行事の担い手の減少、人と人とのつながりの希薄化などを背景に、家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。また、学校や社会生活における困り感を有する全ての町民をはじめ、誰ひとり取り残すことのない社会教育の在り方を検討していく必要があります。

地域・家庭・学校が相互に連携することができる地域コミュニティの形成を目指し、住民の自主的な学習を促進するために、社会教育情報やホームページ・SNS等を活用した各種学習活動情報の提供、相談窓口の充実を図ります。社会教育情報については、住民意識調査の結果によると、「毎月かかさず読んでいる」「時々読んでいる」という回答が60%を占めていることから、今後も内容やレイアウトを工夫しながら、より多くの住民に見てもらえるよう努めます。

一人ひとりが主体的に学ぶ喜びを感じることができ、その学びを支える環境を提供し、生涯学習を通じた住民主体の地域づくりを促進するため、社会教育を推進する団体に対して「やる気スイッチ後押し事業補助金」等により活動支援を行います。また、人材育成では、生涯学習人材バンクの登録や活用を促進し、さらに指導者等への研修機会の提供により社会教育を推進する人材の育成に努めます。

国が令和4年12月に改定した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」により、各地で学校部活動の地域移行が進められる中、興部町においても体制の整備が求められており、将来にわたり子どもたちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するため、検討協議会を立ち上げ、地域クラブ設立に向けた検討協議及び西紋5市町村との連携を進めていきます。

【実施計画】

推 進 目 標	生涯学習の基盤整備・充実
---------	--------------

推 進 項 目	内 容
学習情報提供、相談窓口の充実	●社会教育情報誌の発行 ●ホームページやSNS等を活用した広報周知 ●社会教育に係る相談窓口の充実
社会教育を推進する人材の育成	●生涯学習人材バンクへの登録・活用の推進 ●指導者等の研修機会の提供 ●社会教育を推進する団体への活動支援
学校部活動の地域移行の推進	●地域クラブ設立に向けた検討協議 ●西紋別地区5市町村との連携



生涯学習人材バンク活用「米田御殿でのお茶会」

第3章 社会教育の現状と方向性・実施計画

〈別 表〉

【公民館等（類似施設含む）】

施 設 名	住 所	建築年	築年数	摘 要
中央公民館	仲 町	昭和52年	47	令和元年度耐震補強工事・利便性向上（多目的トイレ・エレベーター整備・大便器すべて洋式便器） 令和5年度エアコン設置（展示室・講堂）
中央公民館別館	仲 町	昭和43年	57	昭和52年に公民館へ用途変更
沙留公民館	沙留旭町	昭和56年	43	令和5年度エアコン設置 （子供教室・研修室・和室）
宇津集落センター	宇 津	昭和55年	44	
秋里集落センター	秋 里	昭和55年	44	
豊野集落センター	豊 野	昭和55年	44	

【その他社会教育施設】

施 設 名	住 所	建築年	築年数	摘 要
興部町立図書館	本 町	昭和60年	40	平成30年度エアコン設置(キッズひろば) 令和5年度エアコン設置(視聴覚室)
開基百年記念興部町総合センター	栄 町	平成元年	35	令和5年度エアコン設置（研修室）
興部町郷土資料館	東 町	昭和61年	38	平成9年6月より供用開始

【体育施設】

施 設 名	住 所	建築年	築年数	摘 要
興部町農業者トレーニングセンター	仲 町	昭和53年	46	令和6年度屋上防水改修工事 令和5年度アリーナ照明LED化工事 令和4年度暖房改修工事
興部町農業者等健康増進施設 （沙留トレーニングセンター）	沙留旭町	昭和54年	45	
興部町構造改善センター （グリーンハウス）	栄 町	平成6年	30	令和5年度温風暖房機更新工事
町営野球場	春日町	昭和57年	41	
町営興部パークゴルフ場	幸 町	平成2年	34	
町営沙留パークゴルフ場	沙留旭町	平成6年	30	
町営興部ゲートボール場	仲 町	平成19年	17	
町営沙留ゲートボール場	沙留旭町	平成3年	33	
町営スキー場	北 興	昭和61年	38	
町民運動広場	春日町	昭和52年	47	
興部小学校プール	緑ヶ丘	平成8年	28	
沙留農村広場	沙留旭町	平成元年	35	

※築年数は令和7年4月現在

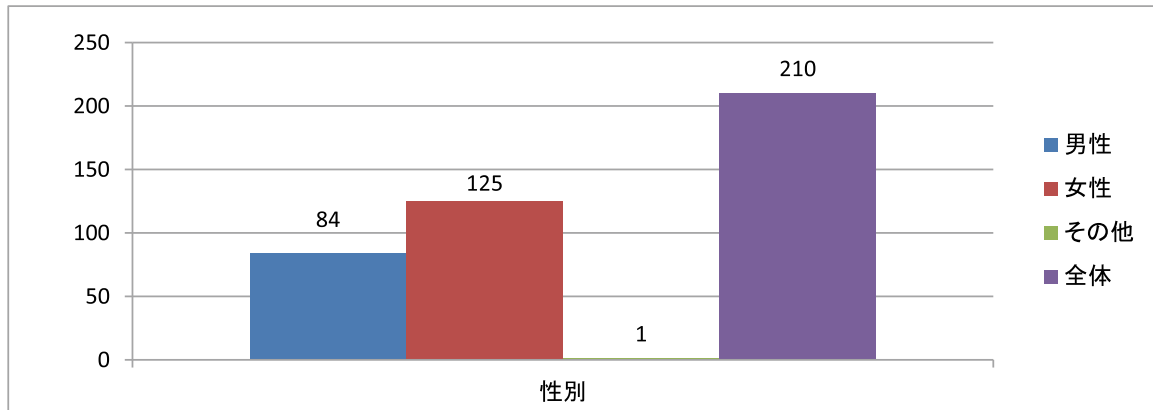
参 考 資 料

第 10 次興部町社会教育中期計画住民意識調査要項

1. 調査目的 この調査は、住民の学習活動の現状や今後における学習傾向等について把握するとともに、地域、生活問題を明確にし、第 10 次社会教育中期計画策定のための参考資料とすることを目的とする。
2. 調査主体 興部町教育委員会
3. 実施機関 第 10 次興部町社会教育中期計画策定委員会
(興部町社会教育委員により組織)
4. 調査対象 本町に在住する満 15 歳以上の町民男女を母集団として住民基本台帳より無作為等間隔に、600 名を抽出する。
(対象者 令和 6 年 8 月 1 日現在 住民基本台帳より)
5. 調査方法 郵送による調査票調査
6. 調査内容 (1)学習活動実態調査
(2)学習ニーズの調査
 (学習内容、方法、形態、レベル、期間等)
(3)社会教育情報に関する調査
 (情報提供内容、方法、情報収集方等)
(4)社会教育推進に対する要望調査
7. 調査期間 令和 6 年 9 月 13 日(金)～9 月 30 日(月)
 調査期間 約 2 週間
8. そ の 他 社会教育情報 9 月号にて予めアンケートの実施を周知

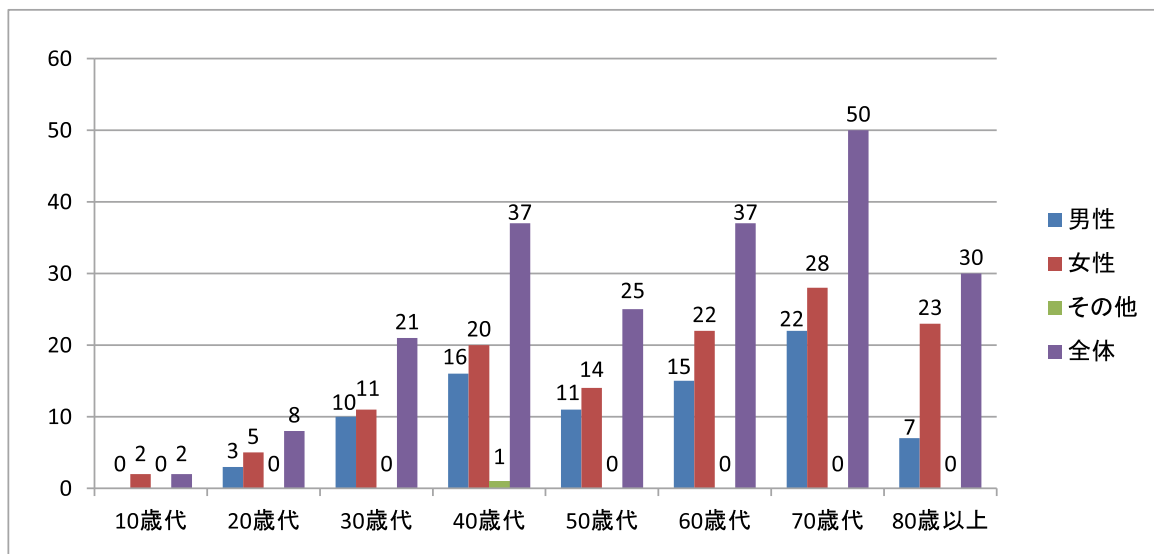
【問1】 あなたの性別をお答えください。

男 性			女 性			そ の 他			全 体	
回答数	比率	回収率	回答数	比率	回収率	回答数	比率	回収率	回答数	回収率
84	40.0%	28.0%	125	59.5%	41.7%	1	0.5%		210	35.0%



【問2】 あなたの年齢を次の区分でお答えください。

	男 性		女 性		その他		全 体	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	回収率
10 歳代	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%	2	11.8%
20 歳代	3	1.4%	5	2.4%	0	0.0%	8	12.9%
30 歳代	10	4.8%	11	5.2%	0	0.0%	21	35.6%
40 歳代	16	7.6%	20	9.5%	1	0.5%	37	40.2%
50 歳代	11	5.2%	14	6.7%	0	0.0%	25	32.5%
60 歳代	15	7.1%	22	10.5%	0	0.0%	37	35.6%
70 歳代	22	10.5%	28	13.3%	0	0.0%	50	45.5%
80 歳以上	7	3.3%	23	11.0%	0	0.0%	30	38.0%



【問3】 あなたの現在お住まいの地区を次の区分でお答えください。

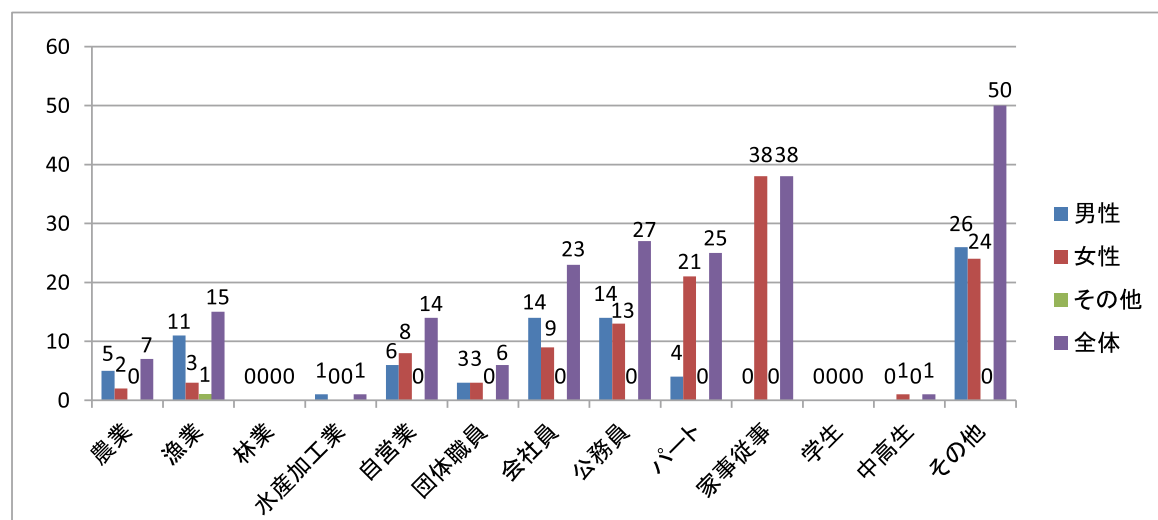
	男 性		女 性		その他		全 体	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
沙留地区	23	27.4%	23	18.9%	1	0.5%	47	22.7%
宇津・宮下・北興・豊野・住吉・富丘地区	5	6.0%	8	6.6%	0	0.0%	13	6.3%
興部市街地	56	66.7%	91	74.6%	0	0.0%	147	71.0%

【問4】 あなたの家族構成についてお答えください。

	男 性		女 性		その他		全 体	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1人暮らし	16	19.0%	29	23.4%	0	0.0%	45	21.5%
配偶者と同居	35	41.7%	46	37.1%	0	0.0%	81	38.8%
配偶者・子どもと同居	17	20.2%	23	18.5%	0	0.0%	40	19.1%
子どもと同居	2	2.4%	9	7.3%	0	0.0%	11	5.3%
親・配偶者と同居	6	7.1%	1	0.8%	0	0.0%	7	3.3%
親・配偶者・子どもと同居	3	3.6%	1	0.8%	1	100.0%	5	2.4%
親・子どもと同居	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.5%
その他	5	6.0%	14	11.3%	0	0.0%	19	9.1%

【問5】 あなたの主たる職業等をお答えください。

	男 性		女 性		その他		全 体	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
農業	5	6.0%	2	1.6%	0	0.0%	7	3.4%
漁業	11	13.1%	3	2.5%	1	100.0%	15	7.2%
林業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
水産加工業	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
自営業（商・工・サービス業）	6	7.1%	8	6.6%	0	0.0%	14	6.8%
団体職員	3	3.6%	3	2.5%	0	0.0%	6	2.9%
会社員	14	16.7%	9	7.4%	0	0.0%	23	11.1%
公務員	14	16.7%	13	10.7%	0	0.0%	27	13.0%
パート	4	4.8%	21	17.2%	0	0.0%	25	12.1%
家事従事	0	0.0%	38	31.1%	0	0.0%	38	18.4%
学生（中高生除く）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
中高生	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.5%
その他	26	31.0%	24	19.7%	0	0.0%	50	24.2%



【問6】 あなたはここ2～3年、生涯学習と言われる活動（各種講習への参加や文化・スポーツ活動など）をしましたか。又はしていますか。

	男 性		女 性		その他		全 体	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
はい	25	29.8%	35	28.2%	0	0.0%	60	28.7%
いいえ	59	70.2%	89	71.8%	1	100.0%	149	71.3%

【問7-①】 問6で「はい」と答えた方に伺います。それはどのような活動ですか。（複数回答）

男 性		
順	項 目	比率
1	スポーツ・レク	52.0%
2	ボランティア活動	20.0%
2	合唱・楽器演奏・演劇	20.0%
4	その他	12.0%
5	料理・調理等	8.0%
5	生活習慣・介護予防	8.0%
5	文学・歴史	8.0%
回 答 合 計 (人)		25

女 性		
順	項 目	比率
1	スポーツ・レク	42.9%
2	習い事	20.0%
3	料理・調理等	17.1%
4	茶道・華道・日舞	14.3%
5	生活習慣・介護予防	11.4%
5	絵画・手芸・陶芸	11.4%
5	ボランティア活動	11.4%
回 答 合 計 (人)		35

そ の 他		
順	項 目	比率
1		
2		
3		
4		
5		
回 答 合 計 (人)		0

全 体		
順	項 目	比率
1	スポーツ・レク	46.7%
2	ボランティア活動	15.0%
3	料理・調理等	13.3%
4	習い事	11.7%
5	生活習慣・介護予防	10.0%
5	合唱・楽器演奏・演劇	10.0%
5	茶道・華道・日舞	10.0%
回 答 合 計 (人)		60

【問7-②】 問6で「はい」と答えた方に伺います。それは、どのような方法でおこないましたか。（複数回答）

男 性		
順	項 目	比率
1	サークル・団体に加入	52.0%
2	町（教委）事業に参加	48.0%
3	他市町村（自治体）の事業に参加	28.0%
4	インターネットを利用	8.0%
5	民間カルチャーセンター	4.0%
5	雑誌・書籍・DVDによる独学	4.0%
回 答 合 計 (人)		25

女 性		
順	項 目	比率
1	サークル・団体に加入	51.4%
2	町（教委）事業に参加	25.7%
3	他市町村（自治体）の事業に参加	14.3%
4	その他	11.4%
5	雑誌・書籍・DVDによる独学	8.6%
回 答 合 計 (人)		35

そ の 他		
順	項 目	比率
1		
2		
3		
4		
5		
回 答 合 計 (人)		0

全 体		
順	項 目	比率
1	サークル・団体に加入	51.7%
2	町（教委）事業に参加	35.0%
3	他市町村（自治体）の事業に参加	20.0%
4	雑誌・書籍・DVDによる独学	6.7%
4	その他	6.7%
回 答 合 計 (人)		60

【問7-③】 問6で「はい」と答えた方に伺います。それは、どのような理由からですか。(複数回答)

男 性		
順	項 目	比率
1	健康維持や老化防止	52.0%
2	地域貢献やボランティア	36.0%
3	余暇を楽しく過ごす	32.0%
4	大会・協議会等への出場	28.0%
5	友人を増やす	16.0%
5	ストレス解消	16.0%
回 答 合 計 (人)		25

女 性		
順	項 目	比率
1	余暇を楽しく過ごす	51.4%
2	健康維持や老化防止	28.6%
3	ストレス解消	22.9%
4	家庭生活に役立てる	17.1%
4	友人を増やす	17.1%
回 答 合 計 (人)		35

そ の 他		
順	項 目	比率
1		
2		
3		
4		
5		
回 答 合 計 (人)		0

全 体		
順	項 目	比率
1	余暇を楽しく過ごす	43.3%
2	健康維持や老化防止	36.7%
3	地域貢献やボランティア	21.7%
4	ストレス解消	20.0%
5	友人を増やす	16.7%
回 答 合 計 (人)		60

【問8-①】 問6で「いいえ」と答えた方に伺います。どのような理由から活動をしなかったとお考えですか。

男 性		
順	項 目	比率
1	やりたいことが特になかった	47.5%
2	時間がない	30.5%
3	健康上の理由	15.3%
4	経済的なゆとりがない	10.2%
5	仲間がいない	8.5%
回 答 合 計 (人)		59

女 性		
順	項 目	比率
1	やりたことがなかった	37.1%
2	時間がない	30.3%
3	健康上の理由	18.0%
4	家庭の事情	9.0%
5	場所や施設が近くにない	6.7%
回 答 合 計 (人)		89

そ の 他		
順	項 目	比率
1	時間がない	100.0%
2		
3		
4		
5		
回 答 合 計 (人)		1

全 体		
順	項 目	比率
1	やりたことがなかった	40.9%
2	時間がない	30.9%
3	健康上の理由	16.8%
4	経済的なゆとりがない	6.0%
4	家庭の事情	6.0%
4	仲間がいない	6.0%
回 答 合 計 (人)		149

【問8-②】 問6で「いいえ」と答えた方に伺います。どのような活動であれば参加してみたいと思いますか。

男 性		
順	項 目	比率
1	特にない	42.4%
2	スポーツ・レク	22.0%
3	料理・調理等	11.9%
4	生活習慣・介護予防	5.1%
4	情報通信技術	5.1%
4	その他	5.1%
回 答 合 計 (人)		59

女 性		
順	項 目	比率
1	特にない	44.9%
2	絵画・手芸・陶芸	13.5%
3	スポーツ・レク	11.2%
4	料理・調理等	9.0%
5	生活習慣・介護予防	7.9%
回 答 合 計 (人)		89

そ の 他		
順	項 目	比率
1	特にない	100.0%
2		
3		
4		
5		
回 答 合 計 (人)		1

全 体		
順	項 目	比率
1	特にない	44.6%
2	スポーツ・レク	15.4%
3	料理・調理等	10.1%
4	絵画・手芸・陶芸	8.1%
5	生活習慣・介護予防	6.7%
回 答 合 計 (人)		149

【問9】 どのような事業があれば子どもに参加させたいですか。

(社会教育分野)

- ・ 情報通信技術に関する学習や講習。
- ・ 将来の職業について。
- ・ 算盤、書道。
- ・ 子どもとのかかわり方について（18歳くらいまでの）。
- ・ 英会話。
- ・ お年寄りと子どもが楽しく交流できるような行事があればいいです。
- ・ 英語。
- ・ チーズ作り、アナログゲームなどを用いた楽しめる交流活動。
- ・ 興部町の自然を学ぶ活動。
- ・ タブレット等でクイズ系問題集。
- ・ 防災学習（ゲリラ豪雨の備え方、停電時の過ごし方等）。
- ・ 簡単な英会話。
- ・ 長寿大学にも参加したいんですけど行くことが出来ません。

(スポーツ分野)

- ・ 元プロ、現役選手の教室や講演。
- ・ モルック。
- ・ バレーボール。
- ・ 団体競技。
- ・ ダンス。
- ・ 子どもの習い事がなかなかできないので沙留でもスポーツ教室がしたいです。
- ・ 体操。
- ・ モルックやパークゴルフ。
- ・ 基礎体力が上がる内容。
- ・ 段階的に継続することができる事業。

(図書分野)

- ・ 本を読む（活字）機会。
- ・ 現在実施している作家さんを招いて親子で参加できる事業は継続してほしいです。

【問10】 あなたが今興味や関心を持っていることはなんですか。

男 性		
順	項 目	比率
1	自分や家族の健康	53.6%
2	自分や家族の将来	31.0%
3	趣味のこと	28.6%
4	興部町の行政のこと	14.3%
5	仕事上のこと	13.1%
回 答 合 計 (人)		84

女 性		
順	項 目	比率
1	自分や家族の健康	60.0%
2	自分や家族の将来	32.0%
3	趣味のこと	23.2%
4	家計のこと	15.2%
5	育児・子どもの教育	14.4%
回 答 合 計 (人)		125

そ の 他		
順	項 目	比率
1	育児・子どもの教育	100.0%
2		
3		
4		
5		
回 答 合 計 (人)		1

全 体		
順	項 目	比率
1	自分や家族の健康	57.1%
2	自分や家族の将来	31.4%
3	趣味のこと	25.2%
4	育児・子どもの教育	13.3%
5	家計のこと	11.9%
回 答 合 計 (人)		210

【問 11】 以下について、より充実させるべきと考える事業はありますか。特に無ければ未記載で結構です。

(社会教育事業)

男 性		
順	項 目	比率
1	施設整備	21.4%
2	子供向け各種体験教室	17.9%
3	成人向け各種講座や勉強会	15.5%
4	一般向け芸術鑑賞	13.1%
4	高齢者対象の生きがいづくり	13.1%
回 答 合 計 (人)		84

そ の 他		
順	項 目	比率
1		
2		
3		
4		
5		
回 答 合 計 (人)		0

女 性		
順	項 目	比率
1	成人向け各種講座や勉強会	16.0%
2	一般向け芸術鑑賞	14.4%
3	子ども向け各種体験事業	11.2%
3	施設整備	11.2%
5	家庭教育支援事業	7.2%
回 答 合 計 (人)		125

全 体		
順	項 目	比率
1	成人向け各種講座や勉強会	15.8%
2	施設整備	15.3%
3	子ども向け各種体験事業	13.9%
4	一般向け芸術鑑賞	13.9%
5	高齢者対象の生きがいづくり	11.0%
回 答 合 計 (人)		209

(スポーツ関連事業)

男 性		
順	項 目	比率
1	施設整備	19.0%
2	スポーツによる健康づくり教室	15.5%
3	子ども向け水泳教室	11.9%
4	ウォーキング・ハイキング	9.5%
5	子ども向けスノーボード教室	8.3%
回 答 合 計 (人)		84

そ の 他		
順	項 目	比率
1		
2		
3		
4		
5		
回 答 合 計 (人)		0

女 性		
順	項 目	比率
1	スポーツによる健康づくり教室	20.0%
2	ウォーキング・ハイキング	11.2%
3	施設整備	6.4%
4	子ども向け水泳教室	4.0%
5	申請スポーツ教室	3.2%
回 答 合 計 (人)		125

全 体		
順	項 目	比率
1	スポーツによる健康づくり教室	18.2%
2	施設整備	11.5%
3	ウォーキング・ハイキング	10.5%
4	子ども向け水泳教室	7.2%
5	子ども向けスキー教室	4.3%
回 答 合 計 (人)		209

(図書館関連事業)

男 性		
順	項 目	比率
1	施設整備	19.0%
2	一般向け事業(作家講演会等)	11.9%
3	子ども向け事業(読み聞かせ・図書館祭)	10.7%
4	電子書籍	8.3%
5	移動図書館車運行事業	7.1%
回 答 合 計 (人)		84

そ の 他		
順	項 目	比率
1		
2		
3		
4		
5		
回 答 合 計 (人)		0

女 性		
順	項 目	比率
1	図書購入	9.6%
2	一般向け事業(作家講演会等)	9.6%
3	施設整備	9.6%
4	子ども向け事業(読み聞かせ会・図書館祭)	8.0%
5	電子書籍	5.6%
回 答 合 計 (人)		125

全 体		
順	項 目	比率
1	施設整備	11.0%
2	一般向け事業(作家講演会等)	10.5%
3	図書購入	10.0%
4	子ども向け事業(読み聞かせ会・図書館祭)	9.1%
5	電子書籍	6.7%
回 答 合 計 (人)		209

【問 12】 あなたが町の情報を得る手段はなんですか。

	男 性		女 性		その他		全 体	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
広報おこっぺ	77	91.7%	113	90.4%	0	0.0%	190	90.5%
町ホームページ	19	22.6%	19	15.2%	1	100.0%	39	18.6%
SNS	14	16.7%	16	12.8%	0	0.0%	30	14.3%
知人などから	16	19.0%	35	28.0%	0	0.0%	51	24.3%
その他	3	3.6%	2	1.6%	0	0.0%	5	2.4%

【問 13】 あなたは、教育委員会が発行している「社会教育情報」を読んでいますか。

	男 性		女 性		その他		全 体	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
毎月欠かさず読んでいる	24	28.6%	28	22.4%	0	0.0%	52	24.8%
時々読んでいる	28	33.3%	47	37.6%	0	0.0%	75	35.7%
ほとんど読まない	18	21.4%	23	18.4%	1	100.0%	42	20.0%
発行されていることを知らない	14	16.7%	12	9.6%	0	0.0%	26	12.4%

【問 14】 「社会教育情報」の内容で、改善すべき点や評価できる点があればご記入下さい。

(改善すべき点)

- ・長寿大学講座及び音楽・演劇活動、神社祭演劇会、カラオケ会など、色々な講演会活動をもっと力を入れてほしい。
- ・せっかく載せるなら、写真とかが見やすいといいと思います。

(評価できる点)

- ・読みやすくなったと思います。ホームページは1ページ毎しか表示されないの、まとめて見たいです。

【問 15】 社会教育施設について、ここ2～3年の間に利用したことがありますか。

男 性		
順	項 目	比率
1	中央公民館	36.9%
2	総合センター	29.8%
3	図書館	25.0%
4	農業者トレーニングセンター	23.8%
5	沙留公民館	17.9%
回 答 合 計 (人)		84

女 性		
順	項 目	比率
1	中央公民館	44.0%
2	図書館	34.4%
3	総合センター	31.2%
4	農業者トレーニングセンター	20.8%
5	沙留公民館	18.4%
回 答 合 計 (人)		125

そ の 他		
順	項 目	比率
1	沙留公民館	100.0%
1	農業者トレーニングセンター	100.0%
1	沙留トレーニングセンター	100.0%
4		
5		
回 答 合 計 (人)		1

全 体		
順	項 目	比率
1	中央公民館	41.0%
2	総合センター	30.5%
2	図書館	30.5%
4	農業者トレーニングセンター	22.9%
5	沙留公民館	19.0%
回 答 合 計 (人)		210

【施設の問題点や意見】

(中央公民館)

- 靴のまま入られるのと、エレベーター付きで出入りが便利である。
- パンフレット拝見。
- カルチャーセンターとしての機能充実。
- 長寿大学でのコーラスや講演会やカラオケなど。

(沙留公民館)

- もっと施設整備をするべき。
- 平成 15 年まで沙留にいたので色々出席しました。
- ロビーで子供たちが集まってゲームをしているのが良くないと思います。
- 子トイレの便座がグラグラ！暗い。

(総合センター)

- 色々な吹奏楽公演や歌手の公演やチャリティー。
- 更衣室のカビ臭。
- トイレの水が流れずらい。
- 自宅より近いので豊かなイベントの時など利用します。

(図書館)

- クーラーがつくと良い。暑くて行く気にならない。
- 先日久しぶりに利用しました。調べたい本の事一緒に探してくれました。
- トイレの個室は子どもと一緒にだと狭くてドアが閉められない。
- 1 週間に一度は行く。
- 窓側の本棚の本が日焼けしているのは少し淋しい気がします。また本が古く見えます。
- 昔より机と椅子が増えていてとても良いと思った。
- 自習室が欲しいです。
- 本・新聞などの読みなどで活用した。

(郷土資料館)

- 高齢者に階段は大変です。
- いつ開いているのか知ろうとしないと知れない。
- 学芸員が必要。
- 開放期間が短い。どこですか？

(農業者トレーニングセンター)

- トレーニングルームの換気の悪さ。
- 第 2 トレーニング室が冬寒い。ストーブをつけてほしい。
- トレーニングルームが 2 階にあるのでノンバリアフリー。
- トイレが古い。
- 時々卓球など健康保持のため利用します。

(沙留トレーニングセンター)

- 雨の時の雨もりを直してほしい。
- もっと施設整備をするべき。
- ジムの設置を希望。

(構造改善センター)

- 人工芝にしてほしい。
- 雨漏り、自販（飲料）が無い。

(町営プール)

- うきわ使用禁止じゃなければいいなと思いました。
- 老朽化、小学校敷地にあるので利用しづらい。

(町営球場)

- ・夏は虫が多すぎる。LED にすれば違いますか？

(パークゴルフ場)

- ・若い時代沙留のパークゴルフをやっていた。
- ・時々利用します。

(ゲートボール場)

(町民運動広場)

- ・芝を整備するか、人工芝にしてほしい。トイレを新しく。

(町営スキー場)

- ・昼食など食べられる売店などがあると良い。

【問 16】 興部町には、当教育委員会より委嘱されている「社会教育委員」という立場の方々がいることをご存じですか。

	男 性		女 性		その他		全 体	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
はい	43	51.2%	61	48.8%	0	0.0%	104	49.5%
いいえ	41	48.8%	53	42.4%	1	100.0%	95	45.2%

【問 17】 興部町社会教育委員に望むことがありましたらご記入ください。

- ・誰が社会教育委員かわかりません。何をしているかもわかりません。
- ・可能な限り各施設を残してほしい。図書館2階は幼児を持つ親にはとても安心して利用できる。もっと紹介してほしい。
- ・活動内容が見えない
- ・行事等長寿大学や講演会、町議と町民との意見交換会での町民の皆様の出席が少ないことです。少なすぎる。
- ・少子高齢化で、子どもを大切にしていこうというのはわかるが、街を支えている、はたらく大人や地域の人々が楽しめるイベントを増やしてほしい。
- ・広報等お知らせに変更があった場合、申し込み者には変更連絡をきちんと入れてほしいです。
- ・教育費の無償化、専門分野・部門のある学校作り、例えば、料理とか半導体など学べれば他からの入学者もふえる。
- ・社会教育委員の方がいることは知っていても、どういう人たちがいるのか、また活動の細かい事までがよくわからないのもっと知りたいです。
- ・子どもの遊ぶところを増やしてほしい。
- ・農業者トレーニングセンターの雨漏り修繕。
- ・お世話になります。今後もよろしくお願いいたします。
- ・長寿大学の行事（旅行等）に呼びかけていただきたい。一人では出かけられない。（勿論費用負担）
- ・スマホ教室をやっていただきたい。

※自由意見

- 子ども達が自然とスポーツに親しめるような環境づくりがしたいです。参加者が中々集まらないのであれば、学校と連携して授業の一環として行ったりするのもいいと思います。
- がんばって下さい。
- 買い物が不便、認定こども園の早期建設。
- 子供が中学、高校の部活動が少なすぎる。やりたい部活がある他の市町へいかざるを得ない。
- 夏休み中にある水泳教室やトランポリン教室など1日で終わりではなく、3～5回程度実施してもらえるともっとスキルアップできたり、楽しさを感じられるのかなと思いました。教えてくださる方の都合や子どもたちが集まらないとできなかつたりするので、難しいとは思いますが、ぜひご検討いただきたいです。
- ライフステージ毎に興味、関心のある事が変化する中、幅広く取組んで下さりありがとうございます。
- 今の現状に満足しています。
- デジタル化で年寄りには理解できないことが多すぎます。ホームページでというが皆がスマホを持っているわけではないし、持っていて使いこなせない。
- 後期高齢者になり商品券、タクシー券をいただきとても感謝しています。あと、町内を走っている無料の車もよく利用しております。
- 元気体操、敬老会、老人の集い、文化祭など助かってます。ありがとうございました。(エレベーター設置)
- 年の方がこれからも多くなり、若い人の活動や参加（自治会もだが）が減っていくように思えてなりません。何事も仕方ないとかで終わらせている面もあるように思います。人は色々問題を抱えて生きている中で少しでも癒しを求めてストレスで体が壊れないよう努力しての毎日が今の自分の年です。
- 文連に加入しているサークルで入会を拒否するサークルがあるとか？ もっと開かれたサークルを望みたい。
- こんにちは。少し単純にお願いしたいことがございます。毎月広報により町中のいろいろな様子や大切なお知らせ、町長日誌、保健だより等などいつも楽しみながら拝見しております。ちなみに、町中イベントの秋の神社祭、その後12月歳末助け合いのチャリティー演芸会は広報の入りませぬよね？ 今後につき広報に入れていただきたいと思いますと思い願うところでございます。その旨、関係者さんとの連携を取りつつ何卒よろしくお願い申し上げます。
- もっと子供向け設備・施設を増やすべき。
- 健康のために歩いているが、小休憩できるポイントが少ない。ベンチや夏場涼めるエアコンが整備された休憩所として気軽に利用できる場所が欲しい。
- 教育委員の方々は頑張ってらっしゃるので、もっと大切にしてください。
- トレセンやプールなどの付き添いの大人の。必要なか不要なのかはっきりしてほしい。
- このようなアンケートを行って意見や改善点があり、改善等を行ったのなら周知してほしい。子供のいる家庭も大事だと思うが、町全体の改革のことを考えてほしい。
- 各事業に親子で参加でき、感謝しています。
- 買い物が夜だとコンビニしかなく非常に不便に感じる。
- 満15歳～40代程度までのアンケート調査にしてみても？
- 住民の皆様が本当に理解して参加できる。
- 興部町の商店街や町内全体的にもっと道の駅やスーパー、街並みの全域を明るく元気で楽しくなるように役場全体で考えてください。町長だけではなく、次長課長係長主事や全職員が協力して会議してください。町民は願っています。

令和6年7月9日

興部町社会教育委員会

委員長 山 田 尚 儀 様

興部町教育委員会

委員長 畑 山 研 二

第10次興部町社会教育中期計画の策定について（諮問）

現在、興部町の社会教育は第9次社会教育中期計画（令和元年度～令和5年度）に基づき推進されているところでありますが、今年度をもってその計画は最終年を迎えることとなります。

この間の社会情勢は、人口減少や高齢化をはじめとする多様な課題の顕在化や、急速な社会経済環境の変化を受け、今後、我が国の地域社会においては、住民主体でこれらの課題や変化に対応することが求められるとともに、地域固有の魅力や特色を改めて見つめ直し、その維持発展に取り組むことが期待されています。

個人や地域が抱える課題が多様化・複雑化する中、当町においては、自らの課題を自らで解決できる自立した個人や、他者と協働しながら主体的に地域社会の課題解決を担うことができる地域住民の育成が重要であると考えます。

このような社会情勢や教育行政の指針を念頭に置きつつ、第六期興部町総合計画と整合性を図り、今後5か年の本町における社会教育の基本的な方向となる、第10次興部町社会教育中期計画（令和6年度～令和10年度）の策定について諮問いたします。

令和7年3月28日

興部町教育委員会

教育長 畑 山 研 二 様

興部町社会教育委員会

委員長 山 田 尚 儀

第10次興部町社会教育中期計画の策定について（答申）

社会教育委員会議に諮問された第10次興部町社会教育中期計画策定について、策定委員会を組織し、慎重な審議を重ねて本答申に至りました。

本計画は、第9次計画を分析評価し、「第六期興部町総合計画」との整合性や「住民意識調査」による住民ニーズを踏まえ策定したもので、テーマである「つなげよう・ひろげよう～“未来”へ羽ばたく人づくり～」を目指すことのできる内容となっております。

本計画が、興部町の社会教育及び生涯学習支援の指針として、教育行政の施策に十分反映されることを望みここに答申いたします。

また、この計画が実現することで、地域全体の連携や活性化がさらに促進され、多くの住民にとって役立つものになることを期待しています。

第10次興部町社会教育中期計画策定経過

時 期	内 容
令和6年7月9日	教育長→社会教育委員長へ諮問
7月24日	中期計画策定委員会の設置 第1回策定委員会の開催 ・委員長、委員長代理の選出 ・専門部会の設置及び正副部会長の選出 ・住民意識調査の実施について（アンケート内容の検討）
9月13日～ 9月30日	住民式調査の実施
11月26日	第2回策定委員会の開催 ・住民意識調査の結果について ・第9期中期計画の評価（案）の検討 ・計画策定の方向性について検討
令和7年1月21日	第3回策定委員会の開催（専門部会） ・第3章目標、施策及び実施計画について検討 ・部会毎に、担当する領域について分析、課題の整理等を実施
2月18日	第4回策定委員会の開催 ・第1章中期実施計画の基本方針（素案）の提示 ・第2章中期実施計画の目標（素案）の提示 ・第3章現状と方向性 ・参考資料の確認
3月18日	第5回策定委員会の開催 ・全体の見直し
3月28日	答申

第 10 次興部町社会教育中期計画策定委員会設置要綱

(設 置)

第 1 条 興部町社会教育の推進に関し、生涯学習の観点に立ち、住民の要求や時代のニーズに対応した中期的な社会教育計画を策定するため、興部町社会教育中期計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(任 務)

第 2 条 策定委員会は教育委員会の諮問に応じ、興部町の中期的（5 年）な社会教育の推進に関し調査研究し、計画書を作成のうえ答申する。

(組 織)

第 3 条 策定委員会は、社会教育委員を持って組織し、教育委員会が委嘱する。

(任 期)

第 4 条 委員の任期は、委嘱を受けた日から答申の日までとする。

(委員長)

第 5 条 策定委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを決める。

2 委員長は策定委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故あるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

(会 議)

第 6 条 策定委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。但し、第 1 回目の会議の招集は教育長が行い、委員長が決定するまで議長となる。

(専門部会)

第 7 条 策定委員会には、次の部会（以下「部会」という。）を置く。

第 1 部会

第 2 部会

2 部会には、正副部会長を置き、委員の互選によりこれを決める。

3 部会長は、部会会議の議長となり部会を掌握する。

4 部会会議は、必要あるときは合同で開催することができる。

(事務局)

第 8 条 策定委員会に事務局を設置し、教育委員会内に置く。

2 事務局員は、教育委員会社会教育課の職員をもってこれに充てる。

(委 任)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会に必要な事項は教育委員会が定める。

附 則

この要綱は、令和 6 年 7 月 24 日から施行する。

第10次 策定委員会部会構成

委員長	山田 尚儀	職務代理	富田 和幸
-----	-------	------	-------

部 会	領 域	委 員			
第1部会	1. 乳幼児期	部会長	仲元寺恒平	副部会長	小山 童史
	2. 青少年期 3. 成人期 4. 高齢期	【委 員】 山田 尚儀、吉水 由利、神谷 博之、古野 輝昭、 小野寺麻衣、小山 童史、仲元寺恒平			
第2部会	5. スポーツ活動	部会長	川谷 昭男	副部会長	長坂 恭子
	6. 図書活動 7. 芸術・文化活動 8. 社会教育基盤整備	【委 員】 富田 和幸、上野 弘一、川谷 昭男、長坂 恭子、 支倉 博、吉田さやか、芦澤雄一郎、鳥居 恵実			

事 務 局	社会教育課長 多田 宏治 公民館長 総合センター所長 図書館長	社会教育係主査	中田 希望
		社会教育係主事	大石 涼夏
		体育振興係係長	堤 弘之
		体育振興係主査	星川 達哉
		体育振興係主事	桜井 駆
		図書係長	大井 重美

第10次 興部町社会教育中期計画

(令和7年度～11年度)

令和7年3月発行

編 集 ・ 発 行

興 部 町 教 育 委 員 会

〒098-1615 紋別郡興部町仲町
TEL 0158-82-2552
FAX 0158-82-3011